

## NEWS 板橋区で念願の子どもの遊び場を実現しました



11月24日、いたばしにプレーパークをつくる会「あそびの根っこ」第1回を開催し、約1,000名の方にご来場いただきました。私もプレーリーダーとして関わりました。「あそびが子どもの根っこを育てる」という理念のもと、これからも子どもが自分の意志で自由に遊べる場を広げていきます。

## NEWS 夏休みに議会ツアーや開催しました

夏休みにママインターの子どもたちを対象に区議会ツアーや開催し、9名の子どもたちに参加してもらいました。区議会クイズ、模擬議案審査なども行い、区議会の活動を身近に感じてもらうきっかけとなりました。今後も募集範囲を広げて継続していきたいと考えています。



## プロフィール

●昭和60年埼玉県鴻巣市生まれ ●同県立熊谷女子高卒 ●獨協大学卒(経営学科)  
住宅営業・マンション管理業など〈人の暮らしに寄り添う〉仕事に従事。宅地建物取引士 管理業務主任者。出産・子育てを機に街や行政に興味を持ち、2023年初当選。  
現在1期目。文教児童委員会、災害対策調査特別委員会に所属。4・7・9歳子育て中。

ご意見、お困りのことを聞かせてください。

板橋区議会議員 大野ゆか事務所

〒173-0033

板橋区大山西町 58-11-1階

<https://yukaono.net>

私の想い ゼヒご覧ください /



LINE

想い映像

公式HP

## 大野ゆか

## 板橋区議会 press

特集

総括質問で  
「10年後のいたばし」について区長に提案しました

板橋区の10年後の目指す姿を区が示す基本構想と、各分野での基本計画が今、議会では議論されています。区民目線でしっかりとチェックし、議会で提案しました。

今、板橋区議会では、**10年後のめざす姿を区が示すもっとも重要な計画とそれに基づく各分野の基本計画を策定中です。**

総括質問では、子育て当事者として、妊娠・出産から子育て、若者期まで切れ目なく支えるまちを目指す**「いたばし子ども若者子育て応援プラン2030」**について、もっと取り入れるべき視点について提案しました。



詳しくは中面へ

実現  
しました！

## 小学生のタブレットが交換されました

今年11月に新機種へ一斉更新されました。画面のみを持ち運べば以前より軽くなりますが、保護カバーを入れると、全体の重さは大きく変わっていません。画面のみの持ち帰りは学校判断のため、今後も運用が進むよう呼びかけていきます。

実現  
しました！

## 子どもの朝の居場所が実現しました

2024年2月の一般質問で提案した「小学生の朝の居場所」について、令和8年度から区内小学校で毎年10校程度ずつ実施を広げることが決まりました。あいキッズ(学童)の部屋で見守りを行います。

## // 大野ゆかの5つの政策 //

# 未来へ続く板橋をつくる

子ども目線で街の課題を考える  
「子どもワークショップ」を開催しました。

### 「普通の人」の声が 届く政治へ

オンラインを活用し政治をわかりやすく伝えます。しがらみがない立場、身近な存在として、民間の意見を代弁します。

独自のフリーステル助成金の必要性について  
以前に一般質問し、委員会で検討状況の  
確認をしました。

### 生きづらさを 仕組みから変える

さまざまな働き方に合わせられ、孤立やひきこもりに寄り添う社会に。また多様性が認められる未来へ、小さな声を代弁します。

### 安心、安全に 暮らせるまちへ

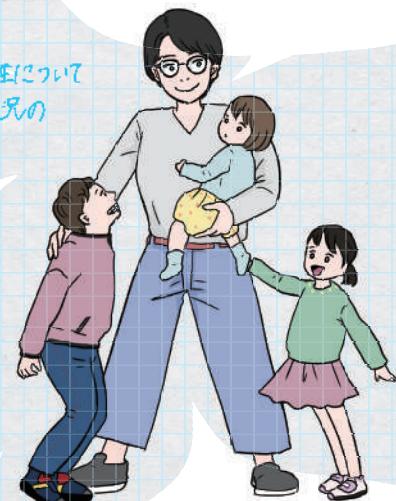
防災対策を充実。安心して年を重ねられる地域の仕組みと支える家族への支援を実現します。いざというときに助け合える多世代地域コミュニティの醸成を支援します。

街の中で世代を超えて顔見知りができるよう定期的にイベントを開催しています。空き家の解体費用の充実を委員会で提案しました。

プレーパークやボール遊びが出来る場所の拡充など子どもたちが遊び過ごせる遊び場の必要性を伝えています。

### すべての子供が自分らしく 幸せに育つまちへ

保育の質と保育・教育環境の整備、不登校支援、子どもの貧困対策、オンライン学習の充実、産後ケアの充実など子育て「当事者」目線で実現します。



### 10年先も 住み続けられる住まい

民間で住まいと暮らしに寄り添い15年働いてきた経験から、マンション管理やシニアの居住支援。障がいがある方の親なき後の住まい、また空き家活用など住まいの政策に取り組みます。

災害調査特別委員会に所属しています。  
空き家の解体費用の充実を委員会で提案しました。

特集

## 総括質問で 「10年後のいたばし」について区長に提案しました

### TOPIC 1 板橋区として子どもの権利条例制定を提案しました

自治体の「子どもの権利条例」を「魂」、「子ども計画」(いたばし子ども若者子育て応援プラン2030)を「ルール」とするなら、魂のないルールは形だけになります。理念に加え、権利侵害への救済や責任の所在を明確にするため、板橋区に子どもの権利条例の制定を改めて提案しました。



### TOPIC 2 ニーズ調査を踏まえた外遊び環境の充実を求めて



「いたばし子ども・若者・子育て応援プラン2030」案では、子育ち力向上のため「遊び・活動の居場所づくり」が示されていますが、外遊びの視点が十分ではありません。ニーズ調査の結果も踏まえ、外遊び環境を計画にどう位置づけるのか、区の考え方を伺い提案しました。

この先10年の板橋の未来を、9つの目標す姿として描いた基本構想がつくられています。理想を掲げるだけで終わらせず、まちが実際に変わっていくよう、これからも子育て世代のリアルな声を届け、提案し続けます。

